

立志財団サポート委員会

これからの活動と
展開について

委員長：三木ヒロシ

①サポート委員会の理念

すべての財団会員の
真志命実現を
サポートする

すべての財団会員と円滑なコミュニケーションやふれあいを通じ、立志財団が提供するコンテンツを有効活用し、真志命を実現していただくために何ができるか？

そのためにサポート委員会は常に考え実践していく。

②サポート委員会メンバー 紹介

三木ヒロシ：委員長

坂本裕子：副委員長

石川智忠(立志塾11期)

石森貴弘(立志塾4期)

南條梨紗(立志塾5期)

岩崎聡史(立志塾8期)

西淳子(立志塾8期)

後藤和人(立志塾6期)

③サポート委員会が現在
おこなっていること、
取り組んでいること

- ・オリエンテーションの実施
- ・会報誌の企画、発送
- ・コンテンツ活用のためのマニュアル作成
- ・ランチ会や飲み会などのイベント企画や提案、運営など
- ・1on1実施の推進

サポート委員会の活動範囲は広く、
これからも増えていくことが予想さ
れ、今後は担当制（チーム制）を
視野に入れながらいかに効率よく業
務をこなしていくか？がカギ。

④今後半年間の展開について

- 全財団会員へのオリエンテーションの実施
- 毎月の会報誌の企画・発行
 - ・ 立志財団すみれ通信（四季ごと）
 - ・ 簡易版会報誌（四季以外）
- 様々なイベントの企画・開催、より良く参加していただくためのオファー作り
- ノンアクティブの会員がアクティブ会員へとスムーズに移行できる仕組みや基盤作り
（アンケートの実施・反映、密なコミュニケーションなど）

新しい取り組み

立志財団、KPIとしての
1on1実施をすべての会員に
推奨していく。

⑤サポート委員会、今後の
課題となるもの

- ・サポート委員会が担う業務をいかに担当制に
していくか

- ・オリエンテーション、初回面談をサポート委
員会メンバー全員が実施できる取り組み

- ・ノンアクティブ会員がアクティブ会員へとス
ムーズに移行できる仕組み作りや取り組み

- ・サポート委員会が担う業務の整理や洗い出し

⑥サポート委員会の展開

いかにすべての財団会員様に豊富なコンテンツを有効活用していただき、真志命実現へのサポートができるか？

そして、取り残されてしまう会員様がないよう、密なコミュニケーションを図り手をつないでいくか？サポート委員会として常に意識して行動していきます。

サポート委員会のメンバーはいつでも募集中です。ご興味ある方は三木、裕子さんまで。

サポート委員会を今後とも、よろしくお願いいたします。